

4月17日(月) 毎日新聞夕刊社会面でも取り上げられました。



フリーマガジンは女性や若者向けが多い中、年配の男性を狙った珍しい媒体として、「月刊 grand reco」が紹介されました。

創刊に至るまでのエピソードのほか、「これまで中高年層に直接PRする媒体がなかったため、反応が楽しみ」等のスポンサーの声や、「街頭配布に抵抗感を持つ人が多いため、郵送する」等の紹介が載っています。

この記事により興味を持った読者やお客様から、創刊前にも関わらずお問い合わせを頂いています。

(第3種郵便物認可)

毎日新聞 (夕刊)

社会 事件

団塊おやじにジュニアから「感謝」

「生活情報」無料雑誌創刊

大量定年退職を控えた団塊世代に第二の人生を楽しくもらおうと、趣味や生活情報を提供するフリーマガジン「月刊 grand reco」(関西版)を20日、大阪市の出版社が創刊する。仕事一筋の父を見て育った山田岳人編集長(36)の編集方針は「団塊ジュニアからおやじへの感謝」。読み物をまじえ、飲食店や習い事、ファッションなど幅広く紹介。近畿在住の希望者に無料で郵送する。

フリーマガジンは若者や女性向けが多く、年配の男性対象は珍しい。タイトルは、英語の「グラウンダー」(祖父)と「グランドファーザー」(祖父)を合わせた。大阪の元会社員ら

60歳前後の男性約100人を対象に、関心事や日常の情報収集手段をアンケート調査。興味にのじて見やすいよう、全体



試作号を手に「おやじたちの世代に、第二の人生を楽しんでほしい」と話す山田さん

「中高年にPR」57社が広告掲載

団塊世代の市場に着目する企業の反応はよく、創刊号は大手から中小まで57社が広告を掲載。大阪市内の「ファイトストア」は「これまで中高年層に直接PRする媒体がなかったため、反応が楽しみ」と期待する。

創刊号はA4判、64ページで5万部印刷。無料巻頭では「風を切る快感と題し、レーシングカート場などを特集。次号の特集は、働きたい人のための「60歳からのハローワーク」。当面は大阪や京都、神戸などで街頭配布する。山田さんは「いずれは全国に広げたい」と話す。問い合わせはアナログネット(06・6244・3008)ホームページ(<http://www.analog-net.com/>)。【野村和史、写真】